

岡病院だより

Vol.66

令和3年1月1日発行



謹賀新年

医療法人桂水会 岡病院
理事長 岡 治道

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

昨年は新型コロナウイルス禍で大変な一年でした。幸いなことに当院では職員、入院患者に一人の新型コロナウイルス感染者も出さずにすむことができました。これは職員一同一丸となって感染対策に当たった賜物です。改めて職員の皆様方に感謝申し上げます。

感染対策の為にはサージカルマスク、アルコール、フェイスシールド、エプロン、ニトリル手袋、プラスチックガウン、N95マスクと大変な準備と手間が必要でありさらにこれらの物品は全て使い捨てる為、大変な労力と多大なコストがかかります。報道でもご存知の通りこれら物品の不足が話題となりましたが、保護具のほとんどが中国で生産されているものです。中国政府が輸出を禁止したため、大変品薄状態となり、値段は10倍に跳ね上がりました。このように日本は生活の基本となる物品や食料、エネルギーを海外に依存しすぎているため、いざ災害が起こったときに大変な混乱が起こることを経験しました。これをよい機会とし、これらの生活基本物品は多少コストがかかっても、日本で生産すべきです。

昨年当院では大変な収入減となり、また感染対策として新たに透析棟で発熱患者専用通路の新設、更に発熱患者の検査、診察をするためのプレハブ棟の設置を行うなど、出費も重なり大変厳しい財政状況となりました。皆様方の中には飲食業に代表されるように、さらに厳しい状況下に置かれている方々も数多くいらっしゃるかと存じますが、今後新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬が早期に開発され、1日も早く落ち着いた日が訪れることを願い、新年の挨拶とさせていただきます。





新年のごあいさつ



副院長 尾 碕 俊 造

皆様新年明けましておめでとうございます。

今年令和3年（2021年）となりました。

本年は十二支では丑年で、干支では辛のため辛丑（かのとうし）となります。

恵方は南南東です。

初詣などで破魔矢やお札などを求められたら、恵方とは対面になる位置に置き、破魔矢の先端は恵方に向けて飾るのが決まりのようです。

旧来丑年は我慢（耐える）や発展の前ぶれ（芽が出る）などを表す年になると言われています。

さて昨年を振り返れば、2020年1月には世界保健機構（WHO）が中国武漢で発生したウイルス感染症の原因ウイルスを2月11日にSARS コロナウイルス（SARS-COV-2）と命名、日本名は新型コロナウイルスとしました。

わが国では2月初旬に横浜港に停泊したクルーズ船で感染クラスター（集団）が発生した事が報道され、大きな話題となりました。

その後世界中にパンデミックを起こして、我々の生活状況に大きな変化を求められ、マスクの着用や、手洗い、手指消毒などが求められ、集団での緊密な活動も禁止されて今日に至っております。

その結果、予定されていた東京オリンピックも延期され、様々な会合やイベントが延期や、無観客などとされています。

さらに11月ころから感染状況の第3波が出現しており、今年もこの状況がさらに続く可能性があります。

解決に向けてワクチンの開発が続けられており、英国では昨年12月には投与が開始されており、わが国でも年内早期には接種が開始されるものと期待されています。さらには治療法の確立も進められており、早くパンデミックの終息宣言が出ることを期待したいものです。

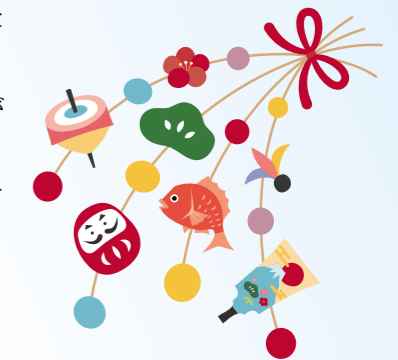
くれぐれも皆様には十分な注意と感染対策をされ、安全で健康な生活をされることを願います。

そして以前と同じような楽しい生活様式に早く戻ることを期待しております。皆様にとっても今年が良い年となることを祈念しております。

本年もよろしく願いいたします。

副院長 大久保 誠 司

新年明けましておめでとう御座います。皆様には健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。昨年は新型コロナウイルスによる自粛の1年でありました。一昨年末に中国湖北省武漢市の武漢華南海鮮卸売市場から原因不明の肺炎が流行し新型コロナウイルスと同定され瞬く間に全世界に感染が拡大しました。感染拡大の兆しが見え始めたころから当院では院内感染対策の徹底を実施し、随時感染状況を確認しつつ対策を協議し感染予防対策を講じてまいりました。元来日本には握手という習慣がなく距離を保った挨拶が文化としてあり、まさにソーシャルディスタンスが習慣としてあったことに加え、食生活でも箸を使う習慣は公衆衛生意識が高く感染抑制に繋がったとされ、これらの日本文化が欧米と比較し爆発的感染を抑制できたとされます。さらに日本では社会保険制度が定着しているため国民すべてが同等の医療が受けられることとなります。今年も新型コロナウイルスとの戦いが続きますが、当院では本庄児玉郡市において腎代替療法としての透析治療をはじめ患者様としっかり向き合える医療の提供を目指します。最後に本年も地域の皆様が当院をご活用頂き健やかな日々が送れますよう祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。



看護部長 田 中 小百合

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはさわやかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

令和の時代となり新たな風が吹き込むことを期待した方も多くいらしたと思います。しかし、新型コロナウイルスという脅威のウイルスが蔓延してしまい、色々なことが制限され多くのストレスや不安を抱えながら日々を過ごされていることと思います。

一日も早く終息することを心から願うばかりです。

昨年中は、当院も今まで以上に感染予防対策を講じ、患者様に安全で安心な医療を受けていただけるようにスタッフ一丸となって試行錯誤しながら取り組んでまいりました。発熱患者様の診療体制の構築、オンライン面会や正面玄関入口での来院者全員検温など初めて取り組むことも多くありました。患者様・ご家族の方々にも多くの協力をお願いすることになってしまいましたが、皆様が快く協力いただいたことに深く感謝いたします。

岡病院の理念を実践するために看護部では「やさしさと責任を持って誠実な看護を実践します」と掲げています。このコロナ禍で入院患者様におかれましては、入院したことにより家族に会えなくなってしまう現状です。私たち看護師は、そんな患者様の不安な気持ちに寄り添い治療に専念できる環境を整えること、家族に対しても今まで以上にコミュニケーションを図り不安を少しでも軽減できるような対応が求められていると考えています。今後も当院で治療を受けられる患者様が、安全で安心な医療・看護が受けられますように医療・看護の質向上に向けてより一層努力してまいります。

お気づきのことがございましたら、いつでもお声がけください。

最後になりますが、本年が皆様にとって幸せな年となりますことを心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

事務長 岡 崎 洋 介

昨年は様々な事がありましたね。新型コロナウイルスは現在も日本どころか世界中で猛威をふるっており、我々医療業界だけではなくあらゆる業種が危機に晒されています。

本来であれば昨年行われていたはずの東京オリンピックも延期になり、今年行われる予定ですが無事行われるのか不安と同時に楽しみでもあります。

そのような中でどうしても気になってしまうのが病院の経営状態です。昨年4月から6月頃は新型コロナウイルスの影響が特に強く、売上も著しく落ちました。マスクや使い捨て手袋等の医療消耗品と呼ばれるものは以前の3倍~10倍くらいまで値上がりしましたが、それでも手に入らない時期もあり、現在も仕入れをするのに苦労しておりますので、厚生労働省や県からの支援物資・補助金・慰労金等の支給には大変感謝しております。それでも都市部を中心に感染者が減らず、とくに昨年末からのインフルエンザ流行期に向けた発熱外来を始めたことでスタッフは人数不足になりながらも、なんとか稼働している状態です。

スタッフは感染対策に常に注意し神経を削りながら業務を行っており、それでも文句を言わず今も手伝ってくれておりますので感謝しきれません。春先には新型コロナウイルスのワクチンが完成するという報道をみますが、実際にそれらを入手できるまで気が抜けませんし、治療薬の完成をただただ願うばかりです。

昨年の病院だよりでご報告させて頂きましたが、当院では外国人実習制度を活用して介護要員を充足する予定でした。こちらもやはり新型コロナウイルスの影響で飛行機が飛ばず、今も実習に来ることができておりません。本来であれば建設業、医療業、サービス業など様々な分野で活躍するはずの実習生達ももどかしい気持ちだと思います。ただ何もできない時間も勿体ないので、せっかくなので実習生達が来るまでの間にベトナム語とミャンマー語を少しでも理解できるように勉強だけは始めました。残念なのが私のダイエットと同じで、「始めた時点で満足して全く結果が出ない」状態に陥っておりますので、今年こそ頑張りたいと思います。

我々岡病院の職員一同は皆様によりよく利用して頂ける施設として日々精進してまいりますので、どうぞ本年も宜しくお願い致します。

理 念

地域医療に貢献する。

基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
- 2 患者様の立場に立った医療を実践する。

私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。

- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
- 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
- 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

権 利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。
- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

責 務

- 1 患者様は当院に病状・既往歴（現況も含む）・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

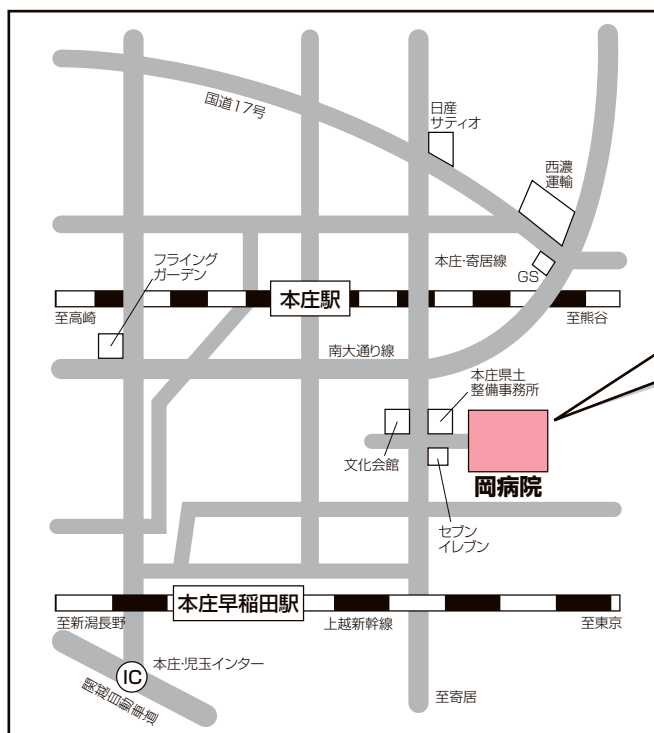
個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等がございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。

- 1 階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。



(公財)日本医療機能評価機構認定



医療法人 岡 病院
桂水会

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地

TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)

URL <http://www.oka-hospital.jp/>

発行日：令和3年1月1日

発行：岡病院

編集：広報委員会